

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2015年12月3日（木）9:30～15:00

作業項目：1）枯木伐木
2）林床整備

10時頃まで雨模様の予報で、全員雨具の用意をして集合場所を出発したが、幸い作業中には雨に遭わなかった。今日は天候のことも考えて作業場所を変更し、近場の45林班「ろ3」地区の南部、原大橋バス停へ下る登山道と尾根筋の作業道の分岐点から南西方面への斜面一帯の整備をすることにした。この辺りは天然林で、マツの枯木や枯れ枝、倒木が目立ち、全体的な印象としては薄暗い感じで以前から気になっていたところである。

2班に分かれて作業を行い、径25cmから30cm程度の太いマツの枯木を6～7本処理することができた。度々掛かり木になったが、高枝鋸（通称なぎなた）や滑車が威力を発揮してくれてありがたい。同時に、枯れ枝や落枝、倒木類の集積、繁茂し過ぎたヒサカキの除伐等、林床整備も進んだので林間が非常に明るくなった。作業後、下の登山道に降りて、上方を眺めてみると、上の作業道の尾根筋まで見通しが効くようになっていた。今日の作業面積は0.1～0.15ha程度で広くはないが細長い斜面なので、こういうところを集中的に整備する、というのは作業効果がてき面に現れてくるのでやりがいがある。

ヒヤリハットが1回。マツの枯木の伐木作業で、マツを倒すところまでは順調だったが、倒れる途中でマツが折れ、根本部分が思わぬ方向に跳ね転がった。注意事項①枯木は思ったより早く倒れ易いので、ツルは多めに切り残すこと②倒れる途中で折れて、折れた部分が思わぬ方向へ飛ぶこ

とがあるので、避難範囲は広めにとること。

【作業参加者】

宮本 廣　中村 賢三　倉谷 邦雄　石原 順子　武田 壽夫
杉本 佳英　斧田 一陽　秦 康夫　　　　　　　　　　　計 8 名



① 集合写真



② 高枝鋸（通称なぎなた）で、掛かり木を処理



③ 松の枯れ木を処理中



④ 明るくなった林間